



第2回環境被害に関する国際フォーラム ー水俣病の教訓を将来に活かすー

報道取材について

主催：第2回環境被害に関する国際フォーラム実行委員会・熊本学園大学水俣学術研究センター
共催：総合地球環境研究所 後援：熊本市・水俣市 協力：日本環境会議

いつも取材していただきありがとうございます。本注意事項にご留意いただき、スムーズで安全なフォーラム運営のため、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 受付

各本社・支局ともに報道関係の方は受付に名刺をお渡し下さい。その際、参加される日を受付にお教え下さい。各社、自社腕章の装着をお願いいたします。

2. 会場内でのテレビカメラ三脚設置場所

大学：通路の前半分（緑のテープで指示部分）でお願いします。なお、翌日の位置取りはご遠慮ください。

※入口部分をご遠慮ください

水俣：座席の後ろ部分で、各社で位置取りをお願いします。

※入口部分は緑のテープで表示しておりますので、緑表示以外でお願いします。

※三脚を使わない場合は、周りに迷惑にならないように撮影をお願いいたします。

3. カメラ

位置は自由です。

4. 報道関係の座席

大学：舞台向かって左側に「報道席」と表示してあります。（P2）

水俣：舞台向かって右側に「報道席」と表示してあります。（P3）

※各会場の報道席には、ドラム式の延長コードを準備してありますのでお使い下さい。

5. 招聘者・来場者への取材について

招聘者・来場者への取材依頼は、各社でお願いいたします。招聘者の記者会見はございません。

6. 9/7（土）エクスカージョンの取材について

この日は、招聘者のみの日程ですが、取材はできます。ただしエクスカージョンの日程について、事前に報道はしないで下さい。移動は、自社の車でお願いいたします。

7. 掲載・放映される日が決定した場合

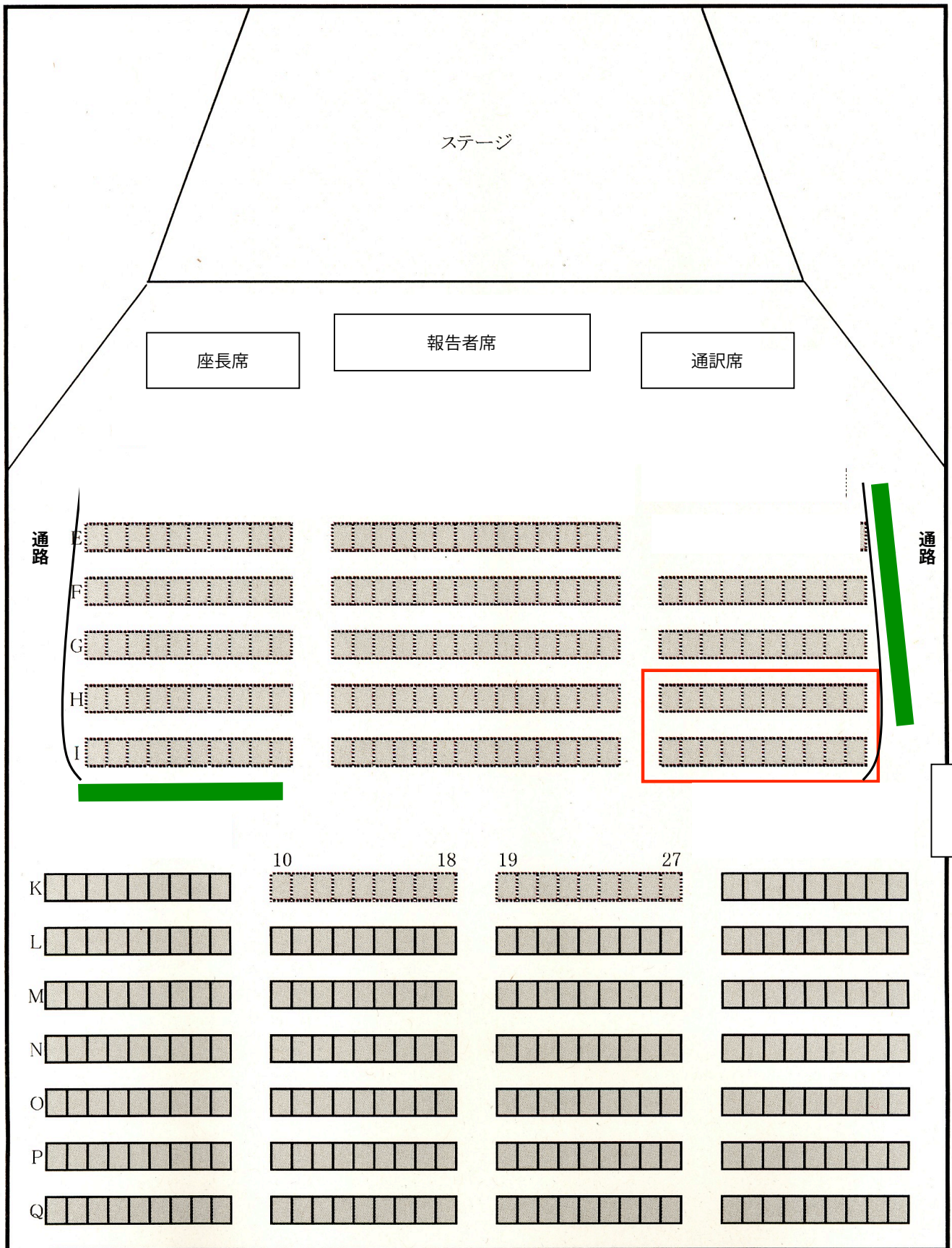
テレビ局：フォーラム期間中に放映される場合は、受付にご連絡をお願いします。（録画のため）。

新聞社：掲載が決定になりましたら、受付にご連絡をお願いします。後日掲載が決まりましたら、お手数ですが大学にご連絡をお願いします。

8. スケジュール最終版

予稿集に掲載しているスケジュールに変更がありました。最終版ですのでご確認ください。

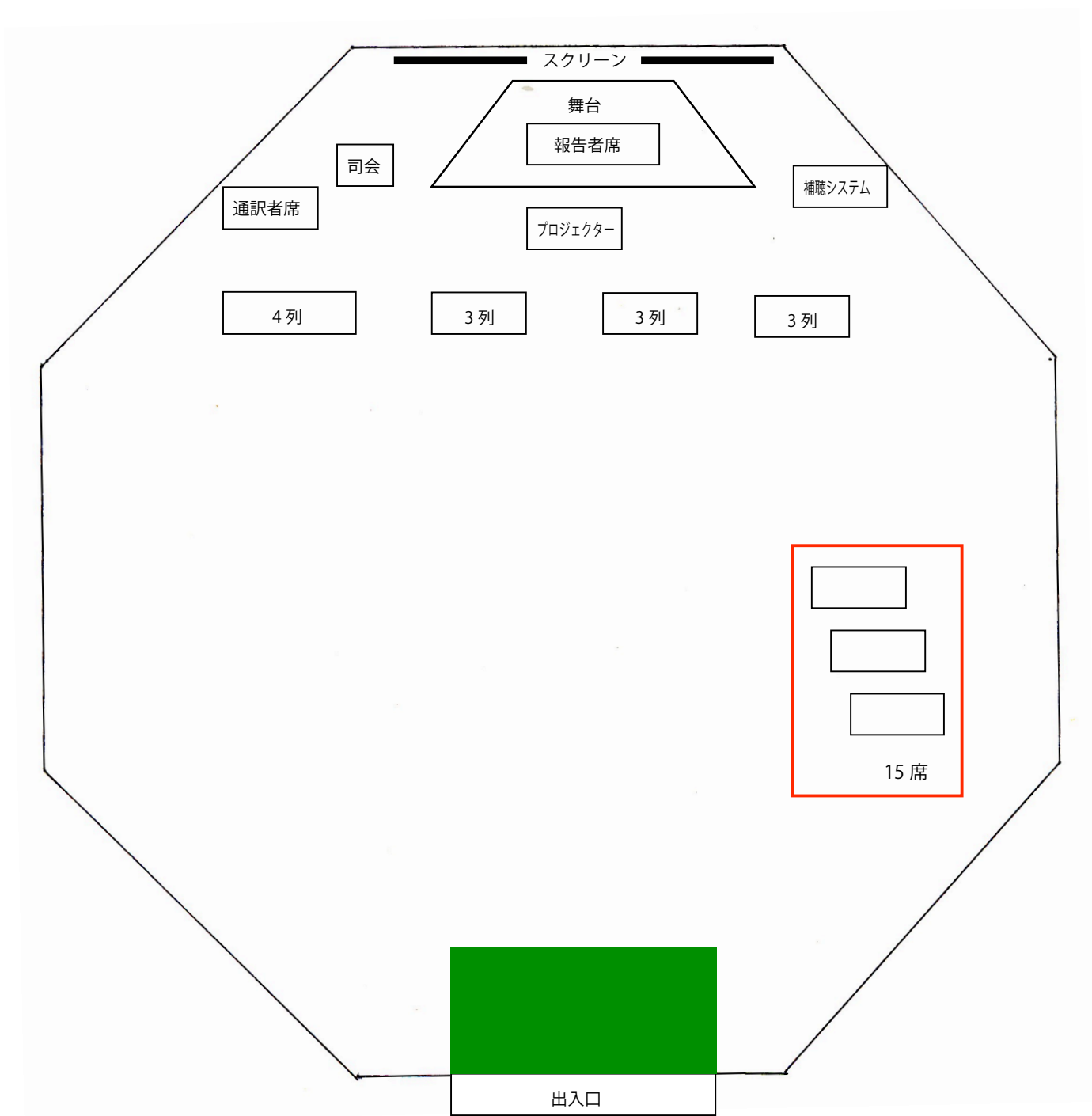
9/5 (木) 9/6 (金) 熊本学園大学高橋守雄記念ホール (14号館1階) 会場図



■ テレビカメラ三脚設置場所 (通路側は、開演後に三脚を設置)

□ 報道記者席

9/8 (日) 水俣市もやい館ホール (3階) 会場図



ここにテレビカメラ三脚は置かないで下さい

報道記者席

スケジュール

1 日目：9/5 (木) 熊本学園大学高橋守雄記念ホール（14 号館 1 階）

開始	終了	行事名	報告者	所属	報告タイトル	
9:30	9:50	主催者挨拶	花田 昌宣	熊本学園大学水俣学研究センター長		
		理事長挨拶	岩野 茂道	熊本学園大学理事長		
9:50	10:40	基調講演	丸山 定巳	熊本学園大学水俣学研究センター顧問	水俣病・失敗の教訓を活かす	
10:40	11:40	特別講演 1	井戸川 克隆	前福島県双葉町長	フタバから遠く離れて	
11:40	12:40	昼食休憩	12:20～DVD上映「真相に向き合う」（英語・中国語字幕付）			
12:40	12:50	セッション 1	座長 宮北 隆志	熊本学園大学水俣学現地研究センター長	趣旨説明	
12:50	13:25		カナダ ジュディ デシルバ	グラッシー ナロウズ環境委員会委員長	水銀汚染と共に生きて	
13:25	14:00		タイ ペンチョム セーターン	EARTH事務局長	環境への警鐘と回復	
14:00	14:35	「被害の全容と地域社会への影響、現地からの実態報告」	韓国 イ ユングン	ウォンジン労働環境健康研究所副所長	韓国におけるフッ化水素酸流出事故	
14:35	15:10		台湾 フウァン ファンチャン	中華医事科技大学看護科准教授	台湾の中国石油化学開発安順塩素アルカリ工場の過去と将来	
15:10	15:45		中国 フォ ダイシャン	淮河水系生態環境科学研究センター	水俣を手本とし、淮河を「解毒」する	
15:45	16:05	休憩				
16:05	16:35	セッション 1	新潟 旗野 秀人	新潟水俣病安田患者の会事務局	阿賀のほとりで共に生きる	
16:35	17:05		学園大 花田 昌宣	熊本学園大学水俣学研究センター長	水俣病と水俣学の試み	
17:05	17:25	「被害の全容と地域社会への影響、現地からの実態報告」	学園大 田尻 雅美	熊本学園大学水俣学研究センター研究助手	胎児性水俣病の現在からみる、水俣病補償救済制度の課題	
17:25	17:45		学園大 井上 ゆかり	熊本学園大学水俣学研究センター研究助手	水俣北部のある漁村における水俣病の現状と漁業	
17:45	18:05		学園大 藤本 延啓	熊本学園大学社会福祉学部講師	水俣市「円卓会議」のゆがみと水俣病の教訓	
18:05	18:15	総括	座長 宮北 隆志	熊本学園大学水俣学現地研究センター長		

2 日目：9/6 (金) 熊本学園大学高橋守雄記念ホール（14 号館 1 階）

開始	終了	行事名	報告者	所属	報告タイトル
9:00	10:00	特別講演 2	淡路 剛久	立教大学名誉教授・日本環境会議前理事長	日本の環境問題の現状と課題
10:00	10:10	セッション 2	座長 花田 昌宣	熊本学園大学水俣学研究センター長	
10:10	10:30	「被害発生と拡大防止、被害 補償と住民の関い」	水俣 佐藤 英樹	水俣病被害者互助会会長	被害補償と住民の関い
10:30	10:50		谷 洋一	NPO法人水俣病協働センター理事	水俣病被害と補償、現在における矛盾と課題
10:50	11:00	休憩	福島 長谷川 健一	福島県飯館村酪農家	原発に「ふるさと」を奪われて
11:00	11:20	セッション 2	タイ ノイ ジャイタン	マブタプット市ゴッコック村住民代表	マブタプット工業団地における公害と住民の関い
11:20	11:40	「被害発生と拡大防止、被害 補償と住民の関い」	カナダ ソア アトキンヘッド	ウィニベグ先住民連帯運動	カナダにおける人種的な環境差別
11:40	12:00		台湾 リン ジージン	安順地域環境汚染被害者自助組織委員長	CPDC社安順工場、汚染地区復旧の現状
12:00	13:00	昼食休憩			
13:00	13:20	セッション 2	韓国 イ ドンシク	亀尾YMCA事務総長	亀尾フッ化水素事故事例
13:20	13:40		中国 ワン ミン	清華大学公共管理学院教授	河川保護：中国NGOの行動
13:40	14:40	総括討論	座長 花田 昌宣	熊本学園大学水俣学研究センター長	
14:40	14:50	まとめ			
14:50	15:10	休憩			
15:10	15:20	セッション 3	座長 中地 重晴	熊本学園大学社会福祉学部教授	
15:20	15:40	「現状から将来への展望」	台湾 ワン ユーチョン	国立成功大学法学部教授	安順訴訟の分析
15:40	16:00		カナダ パメラ マンダミン	ホワイトドッグ居留地住民	カナダ先住民の関いと女性
16:00	16:20		新潟 斎藤 恒	木戸病院名誉院長	新潟水俣病の半世紀を振り返って
16:20	16:40		福島 福田 健治	弁護士、SAFRAN副代表	東京電力福島第一原発事故の被害者救済をめぐる法政策
16:40	16:50	休憩			
16:50	17:10	セッション 3	韓国 キム ヤンホ	蔚山大学医学部教授	韓国のフッ化水素ガス漏れ事故
17:10	17:30	タイ スリチャイ ワンゲオ	チュラロンコン大学教授	タイと水俣の教訓	
17:30	18:30	総括討論	座長 中地 重晴	熊本学園大学社会福祉学部教授	
18:30	18:40	まとめ			
18:40	19:00	全体の総括	花田 昌宣	熊本学園大学水俣学研究センター長	総括提起

3日目：9/7 (土) エクスカーション

開始	終了	内容	備考
7:00	9:00	朝食	アークホテル
9:00	9:45	チェックアウト	
10:00	12:00	バス出発 トイレ休憩	芦北JAでこぼん
12:00	12:45	昼食 わっぱ定食@800円	南里
12:45	13:00	バスにて移動	
13:00	14:30	患者との交流	おれんじ館
14:30	14:40	バスにて移動	
14:40	15:10	坪谷見学	
15:10	15:20	バスにて移動	
15:20	16:20	水俣市立水俣病資料館見学	
16:20	16:30	バスにて移動	
16:30	17:00	百間排水口見学	
17:00	17:30	バスにて移動 ホテルチェックイン	スーパホテルCity水俣
18:30	20:30	夕食	スカイレストランMs 男性3150円 女性2300円

4日目：9/8 (日) 水俣市もやい館ホール (3階)

開始	終了	行事名	報告者	所属	報告タイトル
9:30	10:00	主催者挨拶	宮北 隆志	熊本学園大学水俣学現地研究センター長	
		来賓挨拶	宮本 勝彬	水俣市長	
10:00	10:05	提言	座長 藤本 延啓	熊本学園大学社会福祉学部講師	
10:05	10:30		学園大 中地 重晴	熊本学園大学社会福祉学部教授	水俣水銀条約の課題
10:30	11:00	質疑・意見交換			
11:00	11:10	休憩			
11:10	11:15	患者・住民からの訴え	座長 田尻雅美、井上ゆかり	熊本学園大学水俣学研究センター研究助手	
11:15	11:45		新潟 近 四喜男	新潟水俣病被害者の会 語り部	
11:45	12:00		水俣 坂本 フジエ	水俣病被害者互助会副会長	
12:00	12:30		水俣 坂本 しのぶ	水俣病患者互助会会員・胎児性水俣病患者	
12:30	13:30	昼食			
13:30	14:10		カナダ ピーター カウチスキー	マニトバ大学教授	カナダ、北マニトバの水力発電開発及び水銀汚染
14:10	14:40	質疑・意見交換			
14:40	15:00	休憩			
15:00	16:30	パネルディスカッション 「全体討論：水俣病・失敗の 教訓を将来に活かす」	座長 中地 重晴	熊本学園大学社会福祉学部教授	
			宮北 隆志	熊本学園大学水俣学現地研究センター長	
			各国より報告		
16:30	16:40	総括	座長 中地重晴、宮北隆志		
16:40	17:00	大会宣言採択	花田 昌宣	熊本学園大学水俣学研究センター長	
17:00	17:10	閉会挨拶	花田 昌宣	熊本学園大学水俣学研究センター長	